



ふれあい

2025.2
第31号

地域のことは地域で決め、地域で解決



迎春（協議会会長あいさつ） 2
小手指まちづくり協議会視察研修 7



振興

ラケットテニス大会 4
小手指地区文化祭 6
小手指公民館分館文化祭 6
小手指地区ソフトボール大会 7



コミュニティ

小手指地区新春のつどい 2
小手指地区二十歳のつどい 3
灯籠まつり 4
小手指区長会視察研修 5



安全

歳末一斉合同パトロール 8
歳末特別警戒 8



福祉

シニアのための心と身体の健康づくり 7

青少年育成

モルック競技体験 5
小手指ジャンボリー 8



環境

小手指地区環境推進員協議会視察研修 4
もったいない市（分館） 5



2月から5月までの事業予定

● 2月

16日（日）小学生ラケットテニス&モルック教室
18日（火）認知症サポーター養成講座

● 3月

8日（土）小手指方言かるた大会
14日（金）小手指まちづくり協議会運営会議
15日（土）ふうじ・はた作り教室
30日（日）小手指地区ふれあいウォーク

● 4月

11日（金）小手指まちづくり協議会各団体監査

● 5月

10日（土）（総会）小手指まちづくり協議会
小手指区長会、小手指地区社会福祉協議会
小手指地区青少年を守る会連合会
18日（日）（総会）小手指地区環境推進員協議会
所沢市防犯協会小手指支部
18日（日）モルック教室
24・25日（土・日）花木展



編集・発行 小手指まちづくり協議会
〒359-1156 所沢市北野南1-5-2
TEL 04-2948-1295 FAX 04-2948-1247
E-mail : b9481295@city.tokorozawa.lg.jp

▼広報委員（順不同）
永野 正豊、川口 久夫、澤田 和江、小暮 勝之
山崎 裕司、永澤 俊雄

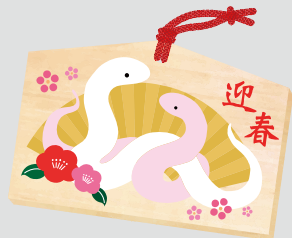


迎春

小手指まちづくり協議会会長 宮寺 敏雄



皆様におかれましてはお健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。
 昨年新年早々に起きた能登半島地震や羽田空港での日航機と海保機の衝突事故など、つらい出来事から始まった一年でしたが、夏のパリオリンピック・パラリンピックでは、日本選手の活躍により多くのメダル獲得となり我々に感動と勇気を与えてくれました。また、大谷翔平選手がハイレベルなMLB記録更新を達成し、世界はもとより日本国民に歓喜の時間を与えてくれました。小手指地区を振り返りますと、大きな自然災害はありませんでしたが首都圏で頻発していた闇バイト事件が当地区内で起こってしまいました。災害や事件から身を守るためにも、地域コミュニティを醸成し自助・共助の仕組みづくりをすることが大切だと考えます。



来る令和7年度も地域住民皆様方に少しでもお役に立てる事業を展開していくとともに、お互いがお互いを想う気持ちを忘れることなく、常に笑顔あふれる安寧なまちづくりを役員一同で進めて参る所存でありますので、引き続き「小手指まちづくり協議会」へのご理解とご協力をお願い申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。



小手指地区新春のつどい

1月13日(祝・月) 暖かい日差しが降り注ぐ成人の日に「小手指地区新春のつどい」が小手指まちづくりセンター(公民館本館)ホールで開催され、所沢市長並びに地元選出市議会議員をはじめ、所沢市選出の衆参両院議員及び埼玉県議会議員、小中学校長、自治会町内会等の皆さん71名が参加されました。

式典の終了後、懇親会へと進みました。乾杯の後、北野神明組囃子連のお囃子が会場を盛り上げ、新春にふさわしく和やかな雰囲気の中かで地域の親睦を深めることができました。





小手指地区 二十歳のつどい

1月13日(祝・月)まるで「成人の日」を祝うかのように晴れ渡ったこの日、「小手指地区二十歳のつどい」が小手指地区体育館を会場に、322名を迎えて催されました。

式典では、二十歳を代表した二人から家族、友人、恩師そして地域の皆様への感謝の言葉とともに、これからの将来に向けての決意、抱負が力強く述べられました。式典後には二十歳の実行委員を中心に「つどい」が催され、参加者は友人たちとのひと時を楽しんでいました。



《新井歩典》

本日は、二十歳の節目を迎えた私たちのためにこのような盛大な式典を開いていただき、誠にありがとうございます。また、お祝いや激励の言葉をくださいましたご来賓の皆様、ご出席いただきました皆様に対して、二十歳を代表し心よりお礼申し上げます。

この20年間、私たちは多くの人に支えられながら成長することができました。こうして無事に節目の日を迎えることができたのも、私たちをここまで育ててくれた家族や、いままでご指導いただきました先生方、そして日々私たちを見守ってくださっている地域の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

また、本日は久しぶりに懐かしい友人たちと再会することができました。振り返れば、学生時代をともに過ごした友人たちとのたくさんの思い出が蘇ります。これからどのような道を歩もうと、青春時代を彩った友人たちは、私たちのかけがえのない財産です。

《名取航輝》

二十歳という節目を迎え、嬉しい気持ちがある一方で、目まぐるしく変化していく社会へ足を踏み入れていくことに対する不安もあります。政治的にも経済的にも不安定な今の社会で、時には難題に直面することもあると思います。しかし、そういったときには家族や友人、地域の方々が見守ってくれていることを思い出し、大きな壁も乗り越えていきたいです。

私たちの中には、就職し社会人として働いている者や、進学し学業に励んでいる者などがいて、それぞれが別の道を歩んでいます。状況は異なっても、感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきます。どうか今後も、温かく見守っていただければ幸いです。

簡単ではありますが、さらなる成長を誓い、二十歳代表の言葉と致します。

本日は誠にありがとうございました。

令和7年1月13日

新井歩典 名取航輝



<二十歳のつどい参加者からひと言>

- いろいろなことに挑戦したい。自分のやりたいことを見つけます (二十歳女性)
- 小学校から一緒のサッカーチームみんなで祝えて嬉しい (二十歳男性)
- とにかく健康が一番。社会人としての自覚をもって頑張ります (二十歳女性)
- 二十歳になったことをきっかけに、自分の夢を追いかけて転職します (二十歳男性)
- 誰からも素敵な女性と言われるようになりたい。両親に感謝です。(二十歳女性)
- 二十歳になってありがとう。感謝しかない(父から娘へ)
- 明るく健やかに楽しい人生を送ってほしい(母から娘へ)
- 無事に二十歳を迎えられ感無量です(母から娘へ)
- よくぞここまで育てくれた。感慨深い(父から息子へ)
- 天候に恵まれ、振袖姿が素敵です。これからの活躍を期待しています(小手指中恩師)
- 若い力・パワーを地域、世間が求めています。社会に貢献することを期待(北野中恩師)
- 大人の仲間入り、私たちと共に住みよい所沢を作っていきましょう(北野小恩師)
- コロナ禍の卒業式を思い出し、考え深いです。おめでとうございます(北野中恩師)



二十歳の代表者(実行委員)



小手指地区環境推進員協議会視察研修

10月1日(火)夏の暑さもやわらいだ良き日に、小手指地区環境推進員協議会の視察研修が28名の参加で実施されました。今回の視察先は、茨城県にある「積水ハウス エコ・ファースト・パーク」、さまざまな暮らしの在り方を、「体験」「学び」「研究」できる施設で、風の家(サステナブルデザインラボラトリー)、あしたの家(ゼロエミッションハウス)、木の家(観環居)、生きものの庭(5本の樹計画の庭)及び資源の泉(資源循環センター)となっています。それぞれの家はコンセプトに合った素晴らしいものでした。また、資源の泉では現場で回収された廃棄物を80品目に分別し、自社または業者に委託して100%リサイクルしているそうです。



灯籠まつり

10月9日(水)六所神社において、灯籠まつりが開催されました。灯籠まつりは、中国において春節の後の最初の満月の夜に願い事を書いた灯籠を川などに流したことが起源とされており、上新井の氏神社である六所神社では平成26年より上新井小学校3年生(当時)が授業の一環で描いた絵を灯籠に貼り、明かりを灯して展示する「灯籠まつり」として始めました。コロナ禍で中止となっていました。本年度から上新井小学校の4年生を対象として再開しました。当日会場では多くの子どもたちやその家族で賑わい、幻想的な灯籠の美しさに感動する声、子どもたちの絵に感心する大人や、展示されている絵に誇らしげな顔の子どもたちの姿が見られました。地域と学校との連携によって、子どもたちが地域社会との繋がりを感じる素晴らしい機会となりました。



ラケットテニス大会

10月13日(日)爽やかな秋晴れのなか、小手指地区体育館において「ラケットテニス大会」が8組16名の参加により開催されました。

開会式後、無理をして怪我などしないよう全員でラジオ体操とストレッチを行ってから試合に臨みました。

日ごろの練習の賜物なのか、長いラリーが続くなど白熱した試合も多く、参加者の皆さんは時間いっぱい楽しんでいました。



青少年育成

モルック競技体験

10月19日(土) 小手指まちづくりセンター(公民館本館)ホールで青少年育成部会主催のモルック競技体験が開催されました。小手指地区の小学生35名(8チームに編成)が参加し、3面コートを使用して競技を行いました。

参加者は競技の経験者も多く、1試合ごとにチームワークも取れ、各試合とも一進一退の白熱したものになりました。

また、今回は体育館においてニュースポーツ「スカイクロス」を体験しました。



環境

もったいない市(分館)

10月20日(日) 前日の暑さから一転、北風の強い肌寒い朝を迎えたなか、秋の「もったいない市」が小手指公民館分館で開催されました。今年も1,036名(過去最高)の方が持ち込みや掘り出し物を探しに来場され、会場内は賑やかなものとなりました。お手伝いをしていただいた環境推進員や自治会の方も大忙しの日となりました。大変お疲れさまでした。



コミュニティ

小手指区長会視察研修

10月30日(水) 前日からの雨も研修先の横浜に着くころにはすっかり止んで研修日和となりました。今回の小手指区長会の研修は22名の参加により、横浜市民防災センターで「風水害体験ツアー」を実施しました。



風水害体験ツアーでは、「減災トレーニングルーム」において大雨や土砂災害発生時の対応、また会議室において避難行動計画(マイ・タイムライン)の作成の仕方学びました。

日本各地で地震・台風・大雨による災害が多く発生している状況で、良い体験となりました。





小手指地区文化祭

11月2日(土)・3日(日) 小手指まちづくりセンター(公民館本館)において「第72回 小手指地区文化祭」並びに「菊花展・盆栽展」が同時開催されました。

開催初日には「北野神明組囃子連」によるお囃子がオープニングセレモニーとして披露されました。舞台発表10団体、菊花展・盆栽展を含む展示発表や模擬店が13団体となりました。初日は雨、2日目は秋晴れというなか、多くの方にご来場いただきにぎやかな2日間となりました。



お囃子(オープニングセレモニー)



小手指公民館分館文化祭

11月9日(土)・10日(日)に「第32回 小手指公民館分館文化祭」が開催されました。

2階ホールで13サークルの舞台発表が行われ、日ごろの練習成果を披露しました。2階ロビー、3階音楽ホールで



10サークルの展示

発表が行われ、作品展示や活動紹介が行われました。模擬店では3団体がクッキー、琥珀糖、揚げパン、野菜、手作りパンの販売やバザーで賑わい、子ども広場では1団体が縁日あそび(射的、くじ引き)など家族連れで楽しんでいました。日ごとに秋が深まるなか、地域の文化事業として多くの方にご来場いただきました。



シニアのための“心と身体の健康づくり”

11月16日(土) 小手指まちづくりセンター(公民館本館)において、地域福祉部会主催による「シニアのための心と身体の健康づくり」講座が開催され、100名の方が参加されました。

第1部では「お口の健康、気にしていますか？」をテーマに、奥原歯科医院の奥原利樹院長を講師にお招きし、歯や口腔の健康を保つことの大切さを学びました。さらに、参加者全員に奥原先生より歯ブラシのプレゼントもありました。また、デイサービス施設「風ステーション」スタッフによる誤嚥予防や脳トレのリハビリ運動を体験しました。

第2部では「津軽三味線の音色を楽しむ」と題して、早稲田大学津軽三味線愛好会「三津巴」による「津軽じょんがら節」をはじめ、アンコールを含めて全10曲の演奏をお楽しみいただき、会場は大いに盛り上がりました。



小手指地区ソフトボール大会



11月24日(日) 穏やかな好天に恵まれ、北野中学校を会場に地区内で活動する6チームに、北中小学校の教職員チームを加えた7チームにより大会が開催されました。

各チームとも日ごろの練習成果を十分に発揮された大会となりました。



小手指まちづくり協議会視察研修

11月26日(火) 22名の参加により山梨県立防災安全センターで「避難所運営図上訓練(HUG)」を受けてきました。避難所運営



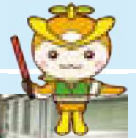
をみんなで考えるためのアプローチとして考えられた図上訓練で、具体的で実践的な避難所運営を疑似体験できるものです。

5班に分かれ、課題に対するレイアウト結果を指名された者が発表。講師からは、その都度、自身の経験からの考え方などの講評がなされました。参加者は、よりよい避難所運営に向けた考え方を得ることができました。





歳末一斉合同パトロール



12月6日(金)朝晩の寒さが厳しくなってきたなか、小手指地区で実施している「歳末一斉合同パトロール」に169名の参加者が集まりました。主催者のあいさつに続き、所沢警察署生活安全課係長より最近の犯罪状況の説明がありました。

その後、参加者は担当地区に別れてパトロールを実施(警察職員も同行)、また、青パトも地区内を巡回しました。



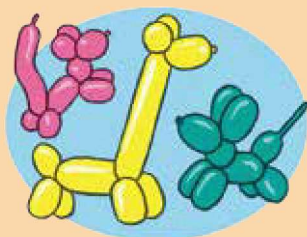
小手指ジャンボリー



12月7日(土)小手指まちづくりセンター(公民館本館)ホールにおいて、青少年育成部会主催の小学生向け異年齢交流事業「小手指ジャンボリー」が開催され26名が参加してくれました。

午前中は、昨年度に引き続き原嶋厚子さん(並木地区在住)を迎え「みんなで作ろう! バルーンアート教室」を楽しく体験。昼食会では、更生保護女性会が作ってくれた「すいとんと混ぜご飯」を美味しくいただきました。午後は、参加者を6チームに分け「所沢郷土かるた大会~所沢の歴史をかるたで学ぼう~」を実施。

かるたに集中し真剣にそしてチーム力で競い合っていました。



歳末特別警戒

12月28日(土)~30日(月)火気を使用する機会も多く、年末の慌ただしい中でちょっとした油断から発生する火災や、放火による火災を防止するために、消防団や自衛消防隊が管轄内の広報を行うなど「歳末火災特別警戒」を実施しました。



編集後記

2024年は1月1日の能登半島地震で始まり、各地での豪雨災害、夏の異常高温、政府への裏金問題等の不信心などの暗いニュースが多くありました。しかし、その一方でパリオリンピックでの日本選手の活躍、またメジャーリーグ大谷翔平選手の大活躍など、うれしいニュースもたくさんありました。2025年がスタートしました。今年はどのような年となるのか、良い年でありますよう願います。